

まちづくり協議会 NEWS



第14号

平成27年8月

[発行] JR芦屋駅南地区まちづくり協議会



「まちづくりや導入機能のイメージ」についての検討を進めています！

7月25日(土)に第20回、
8月8日(土)に第22回の計
画検討会を開催しました。(第
21回計画検討会は、以下参照。)

まちづくりや導入機能のイメ
ージについて話し合いました。



第20回計画検討会の様子



第22回計画検討会の様子



先進地視察(第21回計画検討会)を実施しました！

7月30日(木)に第21回計画検討会として、先進地視察を実施し、寝屋川市の香里園
駅東地区と寝屋川市駅東地区の再開発事業及びその周辺、芦屋市立潮見中学校ランチルーム
の3箇所を見学しました。当日の参加者は、協議会会員9名、市職員・コンサルタント8
名の計17名でした。香里園駅東地区については、寝屋川市職員や当時の再開発組合理事長、
副理事長から下記のとおりお話をいただきました。(視察の概要は4頁参照。)

●再開発を行ってよかったと思う点は？

- ・駅前交通の大渋滞がなくなり、安全・安心のまちに生まれ変わったことです。まちをよくしたいという思いで、幾多の困難も乗り越えられたと思います。

●事業がうまくいったと感じる要因は？

- ・「特定業務代行」という手法により、大手ゼネコンに事業参画をしてもらい、地元と行政の間をとりもってもらいました。ノウハウもあり、非常に良い事業者に巡り会えたことが成功の要因のひとつと考えます。



当時の再開発組合理事長等からの説明



第20回計画検討会の概要と主な意見内容

第20回計画検討会では、JR芦屋駅南地区の整備課題とまちづくりのイメージ（商業機能、公益機能、住宅機能）について話し合いました。

【提示した資料の概要】

○課題

- ・都市計画に基づく道路の整備が未着手のままであり、その間駅周辺は土地の高度利用が進行し、駅前が残された状態となっている。
- ・駅前の交通が^{ふくそう}輻輳し、歩行者の安全の確保等が必要である。
- ・本市南部の発展に伴い、玄関口としての^{たたず}佇まい、中心地としての機能や利便性の向上が求められる。



本地区周辺の航空写真 Google Earthより

※意見交換のタタキ台として以下の内容やイメージ写真を多数提示し、自由に意見をいただきました。

①商業機能について

- ・まず現在の店舗を確保し、活かす
- ・国道2号以南の駅前線のイメージの連続
- ・駅北とは違う商業の賑わい
- ・周辺の住民の暮らしの質を高める商業等

②公益機能について

- ・駅前の市民交流機能
- ・子どもを持つ親がつどい、情報交換やグループづくりのできる施設
- ・教養、趣味など各種の学習講座等がうけられる機能
- ・市内の各種情報を入手できたり、多世代交流などが行える機能
- ・図書館機能
- ・市役所窓口機能や玄関口としての機能
- ・公衆トイレのある駅前等

③住宅機能について

- ・駅前の利便性を活かす
- ・駅前の^{たたず}佇まいを整える
- ・周辺の建物との調和
- ・六甲山などの眺望を活かす
- ・高級感があり風格が感じられる住宅
- ・木造等の特徴あるデザイン
- ・ゆとりのある住宅等

<出席者の主な意見>

○計画全体に関わる内容

- 統一感が重要である。例えば、すべて木造にするなど。
- 日常的に阪神間から人が集まるというテーマを考えれば、芦屋らしい「開発の肝」ができる。
- JR芦屋駅の乗降客数が倍になれば成功。一方、観光地でないので住宅地とのバランスが重要。

○商業機能に関わる内容

- セレブの方たちが自慢げに散策できるようなもの。
- 日本的なものをつくって欲しい。
- 古さや歴史を感じさせるようなところもあって良い。
- 儲かるような施設を考えるべき。
- 儲けるだけでなく地域を良くしたいという気持ちも重要。
- 住宅地を踏まえた芦屋らしい商業施設を望む。
- 住宅地をサポートする商業であるべき。等

○住宅機能に関わる内容

- 南向きで日当たりの良いなど機能が充実し、古くなっても値打ちがでてくる住宅。
- まず住む人のことを第一に考えてほしい。
- 今後、人口は減少し、住宅は余ってくると考える。経営感覚が必要。等

○公益機能に関わる内容

【多世代交流】

- 子育て支援機能と生涯学習機能を融合させて、世代間交流ができるようになれば良い。
- 地域の人たちを集めるような施設づくりを目指すべき。

【健康・文化】

- ヘルシーをテーマにウォーキングセンターを設け、「拠点」をつくる。
- 小規模な図書館や美術館など、芦屋らしい文化的なものがあれば良い。
- 「生涯学習」というと古い印象を受けるので、名称は変えた方が良い。周辺の情報を得ることができるところになれば良い。

【その他の機能】

- 駅に公衆トイレができれば良い。しかし、新しい顔となるので、あまり目立たないこと。
- 市役所の窓口機能があれば便利になると思う。
- 電柱をなくしたり、情報センターや無料のWi-Fi機能が必要。
- 芦屋だけでなく、もう少し広域までエリアを広げて考えるべきだ。
- 交通機能も必要。いかに整合性をとるのか、計画の重要なポイントになると思う。等



第22回計画検討会の概要と主な意見内容

第22回計画検討会では、第20回に引き続き、まちづくりイメージについて話し合いました。

【提示した資料の概要】

＜出席者の主な意見＞

駅前整備の目標

- ・日常の賑わいを増やす
- ・阪神間から人が集まる
- ・芦屋の玄関口としての機能を担う

第20回意見のピックアップ

- 芦屋を発信するまち
 - ・阪神間モダンイズム文化
 - ・国際文化住宅都市
 - ・六甲山登山口
- 健康（ヘルシー）の拠点を形成するまち
 - ・世代間交流：世代の元気を発信
 - ・ウォーキングの案内 等

【必要な機能】

- 芦屋は文化レベルが高い。高い文化度をPRすべき。
- 健康をテーマにエルダーの方が集まる場が欲しい。
- バーチャルな空間と現実が一致するような拠点が良い。
- IT技術を使った情報発信機能が必要。
- 「業平」などの歴史性を活かすべきだ。

【その他】

- 人口減少の縮小社会にどう対応させていくのかが課題。
 - 事業の実現の可能性が見えないので発言できない。
 - 「芦屋らしさ」の答えはない。
 - 阪急芦屋川からJR芦屋までは素晴らしいものが多い。
 - 地域住民のケアが大事。気持ちを大切にしたい。
 - 具体案を早く見せて欲しい。スピード感も重要。
- (コンサル)次回はコンセプトと構成イメージを提示。

＜まとめ＞ 第20回及び第22回計画検討会では、まちづくりイメージ（とくに公益機能）について多くの意見をいただき、議論を深めることができました。また、具体案の提示を求める意見もあり、次回は、これまでにいただいた意見を踏まえ、より具体的に検討していきたいと思います。（次頁の「お知らせ」を参照。）



先進地視察(第21回計画検討会)の概要

①香里園駅東地区

京阪香里園駅東口の市街地再開発事業(約2.6ha)のうち、第3街区の商業棟や駅前広場、区画道路などを中心に見学しました。全店舗外向きの商業棟や高低差を利用し、緑化された通路などが特徴的です。



①香里園駅東地区：商業棟(左)と緑化された通路(右)

②寝屋川市駅東地区

京阪寝屋川市駅に近接する市街地再開発事業(約1.5ha)で整備された施設棟、駅前線などを中心に見学しました。地域交流センターや防災機能をもった広幅員の駅前線などが特徴的です。



②寝屋川市駅東地区：全景(左)と駅前線の防災機能(右)

③市立潮見中学校ランチルーム

本年6月竣工(10月から使用開始予定)の潮見中学校ランチルームを見学しました。木質調で暖かみのある雰囲気や、窓からのキャナルパークを臨む眺望などが特徴的です。



③潮見中：木質調に整備されたランチルーム(左)と眺望(右)



お知らせ

◆今後の予定◆

■ 第23回計画検討会

日時：平成27年8月22日(土) 午前10時00分より

場所：市民センター(公民館) 114室

内容(予定)：まちづくりのコンセプト及び住宅機能のイメージ

・これまでの意見を整理しながら、まちづくりのコンセプトや住宅機能のイメージについて話し合います。

■お問い合わせ先

JR芦屋駅南地区まちづくり協議会
(事務局)〒659-8501 芦屋市精道町7-6
芦屋市都市建設部都市整備課
☎ 0797-38-2074
FAX 0797-38-7974
HP:<http://www.city.ashiya.lg.jp/gairo/jrashiyasouth.html>

JR芦屋駅南地区のまちづくり
についてご紹介しています!

JR芦屋駅南地区

検索